

『クリフォード琉球語彙』 : ‘U’

Iha, Kazumasa / 伊波, 和正

(出版者 / Publisher)

法政大学沖縄文化研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

琉球の方言 / 琉球の方言

(巻 / Volume)

14

(開始ページ / Start Page)

90

(終了ページ / End Page)

106

(発行年 / Year)

1990-03-08

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00012636>

『クリフォード琉球語彙』：‘U’

伊波和正

Cliford's *A Vocabulary Of The
Loo-choo Language* : ‘U’

by Kazumasa Iha

はじめに

1. この小論は『クリフォード琉球語彙』(H. J. クリフォード著、亀井孝解説、勉誠社文庫71)に現れる‘U’の読み方(発音)について検討したものである。

『クリフォード琉球語彙』については、多和田真一郎氏の優れた論文(『沖縄文化』54、『琉球の方言』9)があり、今更の感もなきにしもあらずではありますが、英語教育に関係する一人として、あえて私見を述べてみたい。

2. クリフォードは琉球語の表記にあたって、“The sounds in the Loo-Choo words are expressed by the letters which in English corresponds nearest to those sounds.”(p. 7)と言っている。すなわち、琉球音の表記に、ローマ字でもIPA記号でもなく、英語の正字法を用いる、ということである。
3. 英語の正字法に基づいて表記された琉球語彙は、あくまでも英語における綴り字と発音の関係を念頭において読まれなければならないであろう。この小論は、そのような観点からなされた試論である。

4. 記述の順序は下記の通り：

(本小論における通し番号) 英語式正字法による琉球語<「音韻対応語」日本語訳>・・・
〔読み方〕・・・(テキストの所在頁-通し番号;見出しの英語)
(1-2) Cháwung <茶碗>・・・[tʃá:wΔN]・・・(p. 34-785; Tea-cup)
(p. 47-S [entence 72])

5. 発音表記は下記に従う：

- ① 原則としてIPAを用いる。撥音は、n で表記されたもの、ng で表記されたものがあるが、〔N〕を用いる。促音は〔Q〕を用いる。
- ② 原則として、ア音は a を用いる。
- ③ クリフォードの表記する a, ee, oo, o はそれぞれ〔a:〕, 〔i:〕, 〔u:〕, 〔ou〕と長母音または二重母音として扱う。どれ位の長さであるか疑問の余地はあるが、英語に比べ長く感

じられたものと思われる。

- ④ 重複した同一子音の直前の母音は短母音である。ee, oo, o の直後に同一子音の重複がないことは、これらが決して短母音にはならないことを示している。
- ⑤ アクセント記号' が子音の後に置かれている場合は促音の存在を示す。クリフォードはアクセント記号は「音節の最後の母音の上に記す」(p. 7) と明記しながら、その原則に悖り、子音の後に' を記したりしている。それなりの理由があるものと考えられる。

6. 以下の記述における略記号は次の通り：

琉：『琉球館訳語 本文と索引』（大友・木村編輯、古典刊行会叢書 2）

（15世紀末の琉球語資料）

混：『混効験集 本文と研究』（外間守善著、昭和45年、角川書店）

（1711年編纂の琉球語辞典）

伝：『完訳中山傳信録』（徐葆光著・原田禹雄訳注、昭和57年、言叢社）

（1722年刊。漢音表記による琉球語あり）

大：「大島雑記」（『日本庶民生活史料集成』第1巻、1974、三一書房）pp. 345-360。

（1763年の琉球語が少々ある）

漂：『漂流琉球船漂着始末』（沖縄国際大学南島文化研究所蔵）

（1819年当時の琉球語少々あり）

B：ベッテルハイム『英琉辞書』（B. J. Bettelheim : English-Loochooan Dictionary）

（沖縄国際大学南島文化研究所蔵）

（1851年12月25日脱稿）

南：「南島八重垣 - 明治初年の琉球語」（『方言』第4巻第10号）

対：『沖縄対話』（沖縄県庁編、昭和50年、国書刊行会）

（原本は明治13年）

典：『沖縄語典』（仲本政世著、昭和50年、国書刊行会）

（原本は明治29年）

沖：『沖縄語辞典』（昭和51年、国立国語研究所資料集5）

（首里方言辞典）

漢：『新漢英詞典』（A New Chinese - English Dictionary）(Ding Guang -xun ed., 1985, Joint Publishing Co. HK)

1. -UNG, -UNK

英語においては ung は〔AN〕、unk は〔ANk〕と発音される場合が普通である。従ってクリフォードにおいても、〔AN〕、〔ANk〕と読むべきであろう。

cf. bung, dung, fungus, hung, hunger, hungry, lung, mung, pung, pungency,

rung, sung, tungsten. 例外としてはSung <宋朝>, Tungus <ツングース族>など東洋語に由来する語があるだけである。

cf. bunk, dunk, funk, hunk, junk, junket, nuncle (=uncle), punk, sunk

(1-1) Kágung <鏡>・・・ (p. 16-283; Glass) (p. 22-430; Looking-glass)

Mee kágung <「目鏡」眼鏡>・・・ (p. 32-734; Spectacles=eye-glass)

Toómee kágung <「遠見鏡」望遠鏡>・・・ (p. 32-740; Spy-glass) (p. 45-S43)

それぞれ [ká:gAN], [mi:ká:gAN], [tú:mi:ká:gAN] と読むべきであろう。

cf. 伝: 鏡子(鏡) [喀敢泥 kà-gān-ní] (p. 380 器用)

B: Glass: (looking--) kagán; Looking-glass: kagán, (--stand)
kagán tatí

対: 鏡台 [カガンタテイ], 眼鏡 [ミ-カガン] (p. 13)

沖: kagāN ◎ <鏡>

(1-2) Cháwung <茶碗>・・・ [tʃá:wAN]・・・ (p. 34-785; Tea-cup), (p. 47-S72)

cf. 伝: 茶鐘 [茶碗 chá-wǎn] (p. 380 器用)

B: Tea: (--cup) chǎ-váng

対: 茶碗 [チャワン] (p. 12)

沖: cawaN ◎ <茶碗>

(1-3) Tamung eeo <タマン魚>・・・ [ta:mAN i:ou]・・・ (p. 15-246; Fish, a small blueish)

沖: tamaN ① <鯛の一種>

☆Támoong <薪> (p. 39-938; Wood of any kind) は [tá:mu:N] である。

cf. B: Fire-wood: tamúng

対: 薪 [タムン] (p. 12)

沖: tamuN ◎ <たきもの。たきぎ。まき。>

(1-4) Goóshung <杖>・・・ [gú:ʃAN]・・・ (p. 17-316; Hammer)

cf. B: Cane: gōshang; Stick: (walking--) gōshang, tsi; Staff: (stick)
gūshang, tsi

対: 杖 [グーシャン] (p. 14)

沖: guusjaN ◎ <杖>

☆ Hammer に<杖>の意味はないが、クリフォードの勘違いか、informants との意志疎通がうまくいかなかったための誤解であろう。

(1-5) Kówung (Chinese) <国王>・・・ [kóuwAN]・・・ (p. 20-379; King, or monarch) (p. 51; The Kowung, or King)

cf. 漢: 国王: guó wáng, 'king'

B : King : kovang ; Monarch : kō⁺vang * +は中国語派生語を示す。

(1-6) Hátung <畳>・・・〔(t)há:tAN〕・・・(p. 22-451 ; Mat)

cf. B : Mat : (the thick sort , stuffed with straw on the floors) tatán

対 : 畳〔タタン〕(p. 11)

沖 : tataN ①<畳>

☆Hátung を<畳>と解する根拠は① Mooshoóroo <筵>と並記されていること(ベッテルハイムも Mat の項で並記する)、②クリフォードは Eagle <鷲>(p. 13-189) で Hack'ka <鷹>と表記していること(中国語のように t のアスペレクションによると思われる)、③「南島雑記」(『日本庶民生活史料集成』第1巻、1974、三一書房、pp. 3-79) に〔たはか〕<鷹>(p. 67)とあること、である。

(1-7) A'ssa bung <朝飯>・・・〔ása:bAN〕・・・(p. 22-255 ; Meal , 2nd , two hours later)

cf. B : Meal : (morning--) ássa báng

対 : 朝飯〔アサバン〕(p. 16)

沖 : ?asabaN ②<「朝食」昼飯(正午ごろ食う食事)>

(1-8) Yoó bung <夕飯>・・・〔jú:bAN〕・・・(p. 23-457 ; Meal , 4th , at sunset)

cf. B : Meal : (evening--) yúbáng

対 : 夜食〔ユーバン〕(p. 16)

沖 : 'juubaN ③<夕飯。夕食>

(1-9) Koómeegung <こめかみ>・・・〔kú:mi:gAN〕・・・(p. 34-800 ; Temples , human)

cf. 沖 : kumikaN ④<こめかみ>

(1-10) Tae fung <「台風」の中国音>・・・〔ta:ifAN〕・・・(p. 38-915 ; Wind , great : Táyhfoo <台風>の原注)

cf. 漢 : 台風 : táifēng , 'typhoon'

(1-11) Shang-pung-fwee <人名 : 向 邦輝>・・・〔ʃaN-pAN-fwi:]・・・(p. 51 ;

Pochin ta foo <布政太夫>, or Prince >

cf. 漢 : 向 xiàng , 邦 bāng , 輝 huī (向 鴻 基 xiàng hóng jī の仮名)

(1-12) Chung <来た>・・・〔tʃAN〕・・・(p. 44-S13)

S13 : I came yesterday・・・Cheénoo chung・・・Yesterday came

“chung” の対語訳を “came” としていることに留意すべきである。<来た>は琉球語では〔チャン〕が普通であり “chung” は〔tʃAN〕と読むべきである。

☆クリフォードにおいては動詞過去形は -ang でも表記されている。

I' rreechang <炒めた>(p. 8-19 ; Bake , to)

skéhdang <掴んだ>(p. 10-106 ; Catch , to , a butterfly)

-óstang <覆った> (p. 12-139; Cover, to, over with sand) etc.

(1-13) Yádee tung <破れた>・・・ [já:di:tΔN]・・・ (p. 35-832; Torn, part of any thing)

cf. B: Tear: (is torn) yaritang

☆完了形であろう。継続形なら Yadee tong が好ましいように思われる。

(1-14) Noódung <飲んだ>・・・ [nú:dΔN] (p. 7-5; All drink, every one drinks)

cf. 沖: nu=nuN ◎<飲む>

(1-15) Toómatung <見つけた>・・・ [tú:ma:tΔN]・・・ (p. 15-234; Find, to) (p. 46-S 55)

cf. B: Clue: (have got a--) yuri tukuru tumétang <抛り所を見つけた>

沖: tumee=juN ◎<落とし物を拾い上げる>

(1-16) Eéchung <射た>・・・ [í:tʃΔN] (p. 20-377; Kill, birds)

cf. B: Shoot: (--a strong bow) tsiushi yumishi ichang <強い弓で射った>

沖: ?i=juN ◎<射る。>

(1-17) Oóteetung <落ちた>・・・ [ú:ti:tΔN]・・・ (p. 29-631; Rub, out)

cf. B: Fall: the leaves of the tree dried & fell, kinu fānu shíbudi,

kariti utitáng <木の葉が凋んで、枯れて落ちた>

沖: ?uti=juN ◎<落ちる。>

(1-18) Oótoochung <落とした>・・・ [ú:tutʃΔN]・・・ (p. 22-432; Lose, to) (p. 46-S 54)

cf. B: Lose: (to let fall out of pocket &c.) ké utuchung, útuchi nérang;

Fall: (let・・・) ké utuchung, ke utucháng

☆utuchung は utuchang の誤記であろう、útuchi nérang <落としてしまって手元にない>と並記されており、同じ意味である。

沖: ?utu=sjuN ◎<落とす。紛失する。>

(1-19) Kaoótoochung <落としてしまった>・・・ (p. 10-105; Catch, to)

(1-18) に ka がついた形。この ka は『沖繩語辞典』の kee- <(接頭) 動詞につき、

ちょっと・・・する、・・・しちゃう>であろう。他には katayoong <取ってしまう>

(p. 31-721; Snatch, to) にあるのみ。

(1-20) Oótooshung <落とした>・・・ (p. 29-630; Rub, to)

630: Rub, to・・・Soósooing, or soósootee oótooshung

631: Rub, out・・・Seéree oótooshung, or Soósootee (ootooshung)

-sjuN 動詞語尾はクリフォードでは -shoong となるのが普通であり、-shung はこの一語だけである。それゆえこの -shung は現在形と考えるよりも過去形と考えるのが妥

当と思える。-shung の s は c の判読ミスではなかろうか。もしそうなら (1-18) と同じものとなる。

(1-21) (mímme) Chee karung <(耳) 聞こえない>... [mími: tʃi:ka:rʌN] ...
(p. 12-161 ; Deaf, literally 'ear not to hear')

cf. 伝： 不聴得〔乞介藍 qǐ -gà -lán〕 (p. 385 通用)

B : Hear : (unable to --) chíkarang

沖： --rijuN (接尾 =raN, =Qti) れる、られる。

☆クリフォードにおいては否定形は -ang が普通であるが、-ung も否定語尾として用いられる。

Meérang <見えない>... (p. 18-340 ; Hide, to, or cover, lit. cannot see)

Noómang <飲まない>... (p. 13-181 ; Drink, not to, wine)

(1-22) Chírrarung <切られない>... [tʃira:rʌN] ... (p. 9-52 ; Blunt <鈍った>)

(1-23) Oórunɡ <居らん>... [u:rʌN] ... (p. 49-S104)

S104 Loo-Choo women are not very handsome ... Doóchoo innágo fwwhoócoo
oórunɡ

英文の意味は<琉球女性はたいしてハンサムではない>であるが、琉球語は<琉球女は多く居ない>である。恐らく<琉球女にはそんなにハンサムなものは多くは居ない>のつもりであろう。

cf. B : Nobody : (is there) chung urang <人も居ない>, chuŋɡ uráŋ <一人も居ない>

(1-24) (Neésha) is 'kung <不味くて好かん>... (p. 45-S36)

S36 : It is bad, throw it away <不味い, 捨てろ>... Neésha is' kung

☆ Neéshai s'kung が正しい表記であろう。[ní:sa:i s'kaN] と読める。

cf. B : Like : stchung (stchang, skang <好かん>)

沖： si =cuN ◎ (他 =kaN, =ci) <好く。>

(1-25) Oóchung-ging <投げ捨てる>... [ú:tʃʌŋgiN] ... (p. 35-817 ; Throw, to, away any thing)

cf. B : Throw : (--away) utcháŋgiung (nagi stʃung と並記)

沖： ?uQcaNgi =ju¹N ◎ <うっちらる。投げ捨てる。>

(1-26) Cung coo <こっち来い>... [kaN ku:] ... (p. 11-130 ; Come here)

cf. B : Come : (to a person rather distant) kan kū ! kan kūā !

(1-27) Moóshung <毛氈>... [mu:ʃʌN] ... (p. 8-18 ; Baize, red)

cf. 伝： 氈単〔木心 mù - xin〕 (p. 383 衣服)

B : Carpets : dji mushing, (-- for sitting) yiru mǔshing ; Felt :

mushing ; Flannel : mushing

☆ mooshung の u は ü なら i に近くなるのですが、クリフォードに ü の意識があったか分からない。

(1-28) May' shung <箸>・・・ [máifΔN]・・・ (p. 11-118 ; Chopsticks)

cf. 伝： 筋 (箸) [売生 mài -shēng] (p. 380 器用)

(1-29) Úngua <お姉>・・・ [ΔNgwa:]・・・ (p. 12-154 ; Daughter)

cf. 沖： ?aNgwaa ◎<姉。おねえさん。>

☆ innágo oongua , or úngua と表記されていて、or の意味がはっきりしない。

úngua=innágo oongua か、ungua は oongua の別表記なのか疑問がのこる。Son の項 (p. 32-726) には Ic' kkeega oongua とだけあり úngua が表記されていない点から判断すると、úngua=innágo oongua のつもりであろうとも考えられる。cf.

(6-3)

(1-30) U' nguainan <?>・・・ [ΔNgwaina:N]・・・ (p. 12-150 ; Curlew<ダイシャクシギ>)

『おもろさうし辞典・総索引』(仲原・外間著、昭和53年、角川書店)の「あくれな - の - とり」か。語末の N は <も>の意味かも知れない。また読み方も [Ngwaina:N] かも知れない。cf. 6

(1-31) Amúnka (ic' kkee) <あそこへ (行け)>・・・ [a:mΔNka:(i) iQki:]・・・ (p. 47-S14)

amúnka <i>は ?ama ◎<あそこ> +- Nkai <(助) に>である。

cf. B : There : (that place) áma ; To : -nkae, -kae

2. 動詞語尾 -OUNG

英語には語末に oung を持つ単語はほとんどないが、以下上げる sheenoong , kannoong の例から oung は oong と同じものとして扱われていることが分かる。[u:N] と読むべきであろう。

(2-1) Sheénoung <死ぬ>・・・ [ʃi:nu:N]・・・ (p. 20-378 ; Kill, by the fire of a gun) (p. 62 ; Kill, to)

Sheénoong <死ぬ>・・・ (p. 48-S96)

Sheemoong <死ぬ>, or Koorashoong <殺す>・・・ (p. 20-376 ; Kill, to)

まず Sheemoong については p. 62 に Sheenoung とあり、m は n の判読ミスと考えられる。kill <殺す>を <死ぬ>としたのは <殺した結果死ぬ>ということか。

cf. B : Die : shinyung

沖： si = nuN ①<死ぬ。>

(2-2) kannoung <嗅ぐ>・・・〔káNnu:N〕・・・ (p. 66 ; Smell , to)

Kánoong <嗅ぐ>・・・ (p. 31-712 ; Smell , to)

cf. B : Smell : (to-at a thing) kaza kánnyung

(2-3) Kánoung <食べる>・・・〔ká:nu:N〕・・・ (p. 13-198 ; Eat, to, boiled rice)

Meeshee kamoong, or kanoung となっており、kanoung は kamoong の言山換えである。

cf. B : Eat : kanyung

沖 : ka= nuN ◎<食う。食べる。>

3. - AU

-au は二重母音ではなく、-aw と同様、長母音〔ɔ:] と読むべきであろう。このことは下記(3-1)、(3-2)の例からも分かるように、-au と -aw がお互いに入れ換え可能な事からも納得出来る。クリフォードにおいては -au の使用例は下記7種22例で、-aw の使用が一般的である。

ちなみに *Shogakukan Progressive English Japanese Dictionary* (1987、小学館)で確認したところ CauC -- の形の英単語213の中、〔ɔ:] と発音するもの168、その他の発音をするもの45、で実に80%近くの単語が〔ɔ:] である。

cf. bauble, caution, daub, fauce, Gaul, haul, jaundice, laurel, maul, naughty, pause, raunch, sauce, taut, vault

cf. bawl, crawl, dawn, draw, dawn, fawn, hawk, maw, law, raw, saw, taw

(3-1) Gaujee <定規>・・・〔gɔ́:dzi:]・・・ (p. 63 ; Measure, to)

Gáwjee ・・・ (p. 23-458 ; Measure, to)

☆gau- となっているのは gauge〔gɛ́idʒ〕の影響と思われる。

cf. B : Measure : djódji, (long-) djódji, nagi djódji

(3-2) Kassee jeetaung <妊娠している>・・・〔kasi: djí:tɔ:N〕・・・ (p. 64 ; Pregnant)

Kassee jeétawng ・・・ (p. 27-571 ; Pregnant)

cf. B : Pregnant : (conceived) kassagítóng

(3-3) Saut <添うて、連れて>・・・〔sɔ́:t (i:)〕・・・ (p. 3 ; p44-S17, S18)

Sáútee - ・・・ (p. 47-S68)

Sawt ・・・ (p. 3)

p. 3 には saut と sawt が一行隔て、しかも同一例文の説明文の中に出てくる。

cf. B : Bring : sóti chi <連れて来て>

(3-4) Sáúteeyoong <?>・・・〔sɔ́:ti:ju:N〕・・・ (p. 12-168 ; Dig, potatoes)

Saw'teeyoong … (p. 3) … to dig potatoes の琉球語の解説文の中に出てくる。意味不明の例文で、英文の意味「芋を掘り出す」に対し琉球語は「芋の木 Sauteeyoong」となっている。筆者は sauteeyoong を saudeeyoong , 更に saujeeyoong と解し、「地が芋を生ずる(生み出す)」と解したい。詳細は省く。

(3-5) Gwaútsee <月> … [gwó:tsi:] … (p. 23-469; Moon, or month, one)
(p. 50-S117, S118)

cf. 琉: (正)月〔(焼)哇的(シヤウ)グワチ〕(p. 119 時令89)

伝: (正)月〔(夏)括子(xià-)kuò-zi〕(p. 378 時令)

B: Month: (the first-of year) shó gotsi

対: (正)月〔(シヤウ)グワツ〕(p. 6)

沖: (sjoo) gwaçi ◎<(正)月>

(3-6) Bánjaw gaúnnee <番匠金> … [báNdʒo: gó(:)ni:] … (p. 32-742;
Square, of a stone mason)

cf. Eébee gánnee <「指金」指輪> … [i:bi: gáni:] … (p. 27-593; Put,
to, a ring on the finger)

gaúnnee の読み方については疑問がのこる。nnと子音が重複していることは、直前の母音が短音であることを意味するから、これは [ga:áni:] と読むべきかも知れない。5の項で論ずるべきかもしれない。

cf. B: Square: (carpenter's instrument) ban-djó-gani

沖: baNzoogani ◎<「番匠金」かね尺。>

(3-7) Sabauh <草履> … [sa:bó:] … (p. 30-682; Shoes, or sandals)

Sábock [sa:bók] or sabaugh と並記されていることから、上記のように読みたいが、laugh の連想で [sa:ba:f] かもしれない。

cf. 伝: 鞋〔煞巴 shà-bā〕(p. 383 衣服)

B: Shoes: (native, Japan, straw) saba

南: サバ(saba)草履也。

対: 草履〔サバ〕(p. 15)

沖: saba ①<ぞうり>

4. CuVにおけるU

この環境におけるuは[w]と読まれる。クリフォードにおいてはgu-, qu-だけである。gua-においては, guarantee, guard, guardian など[w]音の入らないものもあるが、クリフォードは[gwa:]のつもりだろうと思われる。qu-においてはquart, quarte など僅かの例外を除き殆ど[w]音がある。

(4-1) -gua <小>・・・ [-gwa:]

(4-1-1) Meéguá <細目>・・・ [mí:gwa:] ・・・ (p. 8-44, 45; Blind)

Blind <盲>なら Meequa となるべき。

(4-1-2) Oóshee gua <子牛>・・・ [ú:fi: gwa:] ・・・ (p. 10-88; Calf)

(4-1-3) Hoónee gua <小船>・・・ [hú:ni: gwa:] ・・・ (p. 30-679; Ship, small)
(p. 47-S83)

(4-1-4) Kássee gua <微風>・・・ [kási: gwa:] ・・・ (p. 38-914; Wind, little)

(4-1-5) teéda gua <小太陽>・・・ [tí:da: gwa:] ・・・ (p. 46-S56)

(4-1-6) Feéja água <子山羊>・・・ [fí:dʒa:á:gwa:] ・・・ (p. 20-375; Kid)

(4-2) qua-, -qua

(4-2-1) Qua <子>・・・ [kwa:] ・・・ (p. 11-115; Children) (p. 46-S48) (p.
47-S68)

cf. Qui <子は>・・・ [kwai (a)] ・・・ (p. 48-S89)

(4-2-2) Quáshee <菓子>・・・ [kwá:fi:] ・・・ (p. 9-67; Bread)

(4-2-3) Quátee <食って>・・・ [kwa:ti:] ・・・ (p. 11-120; Cheese)

(4-2-4) Quaítee <太って>・・・ [kwáiti:] ・・・ (p. 14-223; Fat)

(4-2-5) Quáya <鍬は>・・・ [kwáia:] ・・・ (p. 19-345; Hoe)

(4-2-6) Quaw <鍵>・・・ [kwɔ:] ・・・ (p. 20-373; Key) (p. 37-886; Watch
key)

Quaw <上>・・・ [kwɔ:] ・・・ (p. 21-421; Lip, upper)

(4-2-7) Quáda coósha <高麗胡椒>・・・ [kwá:da: kú:fa:] ・・・ (p. 25-544;
Pepper pod)

(4-2-8) Quára <掛羅>・・・ [kwá:ra:] ・・・ (p. 27-579; Priest, silk belt)

(4-2-9) Quantoong <「広東」中国>・・・ [kwa:Ntu:N] ・・・ (p. 43-S4, S5)
(p. 51)

(4-2-10) Toóqua <冬瓜>・・・ [tú:qwa:] ・・・ (p. 23-459; Melon)

(4-3) quee-, -quee cf. queen

(4-3-1) Queéooong <呉れる>・・・ [kwí:u:N] ・・・ (p. 46-S48)

Queétang <呉れた>・・・ [kwí:taN] ・・・ (p. 45-S47)

(4-3-2) Quee coótchee <噛み口>・・・ [kwi: kú:tʃi:] ・・・ (p. 26-544; Pipe,
mouth piece)

(4-3-3) Queeshácoo <九百>・・・ [kwí:fá:ku:] ・・・ (p. 24-494; Ninety)

(4-3-4) Sáck-quee <咳>・・・ [sáQkwi:] ・・・ (p. 12-140; Cough, to)

(4-4) qui -

(4-4-1) Quírree <呉れ>・・・〔kwiri:〕・・・(p. 38-910; Will you give me)

(4-4-2) Qui cf. (4-2-1)

5. UC-, CUC-

(5-1) um'ma <母(平民)>・・・〔ʌNma:]・・・(p. 23-475; Mother)

úmma・・・・・・・・・・・・・・・・〔ʌ(N)ma:]・・・(p. 48-S99)

umma・・・・・・・・・・・・・・・・〔ʌ(N)ma:]・・・(p. 63; Mother)

umC-形の英語はウムラウト等僅かの例外はあるが、原則として〔ʌm-〕と発音される。

cf. umbel, umber, umbo, umbrella, umpire, umpty cf. (5-3)

um'ma は m' となっていることによって撥音〔N〕の存在は疑う余地はないが、

úmma, umma においては英語の感覚からすれば〔N〕は現れないであろう。そのこ

とは下記のベッテルハイムの例からも想像できる。

cf. 混: あむ<母>

大: 母〔アンマア〕

漂: 母〔アンマイ, アンマア〕

B: Mother : (babes call her) amá ; Mama : amá

南: 〔アム〕(amu)。下輩なる女の称也。或いはムをンに転じていふ。

対: 母〔アヤー〕; 乳母〔チーアンマー〕

沖: ?aNmaa ◎<母。おっかさん。>

(5-2) u'ndlecha <とかげ>・・・〔ʌNdlɛtʃa:]・・・(p. 21-426; Lizard)

unC-形の英単語はすべて〔ʌN〕と発音されると言っても言い過ぎではない。

否定の接頭辞 un- を付けた数多の単語の他、uncle, under, understand などを上げるまでもないであろう。ちなみにこの u'ndlecha は「アングル達」、すなわち、

uncle の c を d に変え、cha <達、等> をくっつけたものであろう。

cf. 対: 石龍子(トカゲ)〔アンダチャー〕(p. 20)

沖: ?aNdaca ◎<とかげ>

(5-3) Shúmma git'cheeong <跪き居る>・・・〔ʃʌma:giQtʃi:u:N〕・・・(p. 20-384 ;

Kneel, to)

Shúmma git'chee <跪き>・・・〔ʃʌma:giQtʃi:]・・・(p. 20-385; Kneeling)

Cum(m)-の英単語 sum, summary, summer, summit, summon, dummy, gummy, mummy などの u は全て〔ʌ〕音である。

gi は〔dgi〕となるべきであり、また gi で〔dgi〕と読む場合も英語にはあるが(例えば -gist <~学者>)、クリフォードでは gi は〔gi〕と読むべきである。

shumma は (fi)shumma であろう。クリフォードは<足>を sha (p. 37-894 ;

Web-footed bird, leg), shánna <足の> (p. 16-267; Foot) と fi を落としている場合が多く、físha (p. 16-269; Foot, of a bird) と正確に表記したのはこの例だけである。

ベッテルハイムの例でも分かるように fi の i 音は極めて短く、聞き取り難いからであろう。

cf. 琉： 跪〔非撤漫多及 ヒザマヅキ〕（人事 320）

B： Kneel : fsha manchishung ; (kneeling report to the Emperor) fsha
manchishi kótinkae únyukiung

沖： hwisjamaNci ①<正座>

(5-4) Qósheethúshee <ウシザシ、簪の一種>・・・〔ú:ʃi:ðʌʃi:〕・・・ (p. 26-537; Pin, laddle head)

Ooshee-thushee・・・ (p. 17-305; Kurrázzee の原注)

-thushee は英語の thus <この様に>に hee をくっつけたものであろう。

クリフォード一行の船医助手フィッシャー (Fisher) も琉球語を採集しているが、彼は usisashee (head-pin with scoop-head) としている。

cf. B： Hair-ornamentals : (that with a spoon form) ushizashi

沖： ʔusiz asi ①<かんざしの一種。>

(5-5) Kurrázzee <髪>・・・〔kʌrázi:〕・・・ (p. 17-315; Hair) cf. (6-9-7)

CuRR 形の英単語においては u は〔ʌ〕と発音されることが多い。

cf. burrow, current, curry, furrow, hurricane, hurry, murrain, turret

cf. 琉： 髪〔加藍 カラジ〕；頭〔嚙藍子 カラジ〕（身体 459）

伝： 髪〔hā-nà-zǐ, hā-lā-zǐ〕；頭〔tā-lǎ-zǐ〕 (p. 382 身体)

B： Hair : karazi ; Head : karazi, tsiburu ; Headache : karazi yadóng

南： カラヅ (karadzi) 頭の義なれども、多くは毛髪のことを云う詞也。(今でも頭痛するには、karadzi nu janun と云ふ)

対： 髪〔カラヅ〕 (p. 17)；頭〔ツブル〕 (p. 17)。例文中に頭痛の意味で〔カラヅヌヤナビータスガ〕 (p. 180) とある。

沖： karazi ②<髪。頭髮。>

「カラジ<髪>」は「カシラ<頭>」の音位転倒によって生じたものだといわれる。一体いつごろまで「カラジ」に<頭>の意味があったのだろうか。上記例で分かるように『琉球館訳語』の時代から昭和9年伊波普猷が「南島八重垣」に注を付す頃までであろうか。クリフォードにも<頭>の意味で「ツブル」と「カラジ」が現れる。

Tseeboóroo・・・〔tsi:bú:ru:〕・・・ (p. 18-330; Head, of a bird)

Makarájjee・・・〔<N>ma:ka:rádʒi:〕・・・ (p. 37-893; Werb-footed bird,

head)

ちなみに Ma [$\langle N \rangle$ ma:] は \langle そこは \rangle の意味であろう。 cf. (6-9-7)

(5-6) Kúttá \langle 肩 \rangle ・・・ [káta:] ・・・ (p. 30-684; shoulders)

CuTT- 形の英単語においては、u は [ʌ] と発音される場合が多い。

cf. butt, butter (y), buttock, button, butress, cutter, cutting, gutter, mutter, mutton, nutty, suttee

cf. B: Shoulder: kata

対: 肩 [カタ] (p. 17)

沖: kata ◎ \langle 肩。 \rangle

(5-7) Amus'heenoo \langle 気重い \rangle ・・・ [a:mʌQʃi:nu:] ・・・ (p. 35-822; Tired, or Fatigued)

Amush-に類する形の英単語はないが、amuck [amʌk] はちかいであろう。あるいは mush, mushroom, muscle, mussel, muck, mucker など連想されるかもしれない。

cf. B: Swooned: ammashashong

沖: ?aNmasjaN ◎ \langle 気分が悪い。頭が重い。 \rangle

6. -OONG, -OOM, -UNG, -UM [N]

-oong, -oom, -un, -um が撥音 [N] と読まれる場合がある。下記 (6-1), (6-2) の注記としてクリフォードは "The sound of the oong, or oomb, is very difficult, and can only be approximated by closing the teeth firmly and compressing the sound of oong." と言っている。「歯をくいしばり、oong [u:N] の音を押しつけ、圧縮することによってなんとか出せる近い音」といえば [N] である。注記には -oong, -oomb しかあげていないが、これらは [NN] の音であろう。これらに対し un, um は [N] の音と思われる。

(6-1) Oóngba, or Oomba \langle 否 \rangle ・・・ [NNba:] ・・・ (p. 24-496; No)

cf. B: No: (--, I won't) mpá!

沖: 'Nba ◎, 'NNba ◎, 'Npa ◎, 'NNpa ◎ \langle 否 \rangle

(6-2) U'mbang, or bang, or oómbang \langle 飯 \rangle ・・・ (p. 28-613; Rice, boiled)

U'mbang [NbaN]

Bang [$\langle N \rangle$ baN] cf. (6-9-5)

Oombang [NNbaN]

cf. 琉: 飯 [翁班尼 ウバニ] (p. 109 飲食 430)

伝: 飯 [唔班 ng-bān] (p. 383 飲食)

B : Rice : (cooked) mishi, (vulgarly) mbǎn, mé

(6-3) Innágo oóngua, or úngua <女の子, 娘> … (p. 12-154; Daughter)

Innágo oóngua [iná:gou NŃgwa:]

Innágo úngua [iná:gou Ngwa:] cf. (1-29)

cf. 伝: 女兒〔会南姑括 hui-nan-gu-kuo〕 (p. 381 人物)

B : Daughter : winago ngua

対: 女(むすめ)〔キナグングワ〕 (p. 8)

沖: 'winaguNgwa ◎<娘。>

(6-4) Ic 'kkeega oóngua <男の子, 息子> … [i'Qki:ga: NŃgwa:] … (p. 32-726; Son)

cf. B : Son : wickigan 'kwa ('kは音便により本来のkが有声化した事を示す)

沖: 'wikigaNgwa ◎<男の子。>

(6-5) (Nápa) ummeátto <(那覇)港> … [Nmiátou] … (p. 52; the town of Napakiang)

Meéattoo <港> (p. 35-834; Town) に「御(み, おん)」の意味の接頭語〔'N-〕が付いたものと思われる。

cf. 琉: 江〔密南度 ミナトウ〕 (p. 148 地理 27)

B : Port : mmyatu, myatu-gutchi

対: 港〔ンミヤト〕 (p. 5)

典: (ミナト) 湊, 港〔みなとウ〕 (p. 182)

沖: 'Nnatu ①<港。>

(6-6) Únjara <行ったのだろう> … [Ndʒa:ra:] … (p. 44-S22)

S22: Táyin makáyee ga únjara <大人は何処へが行ったのだろう>

?NzaN <行った>の活用形。

cf. B : Depart : ndjiti ndjang <出て行った>, hǎchi ndjang <行ってしまった>

英語に撥音〔N〕で始まる単語がないせいか、上記の例で分かるようにクリフォードはその表記に苦心している。以下その苦心の様子を見てみよう。

(6-7) 語頭に母音〔i〕をつけて表記したもの:

(6-7-1) Eénea <皆> … [i:ni a] … (p. 7-4; All, every one)

I'gnea … [i'nia] … (")

これは〔N〕を〔i〕と表記したかも知れない。

cf. 琉： みな（皆）〔民那…ミナ…〕（人事 379， 通用 593）

B： Heaven： 'nnya； Lady： 'nnya

沖： 'Nna ①<皆。>

(6-7-2) Injássa <苦さ>…〔iNdʒása:〕…（p. 8-41； Bitter）

cf. B： Bitter： ndjassang, ndja mung

沖： 'NzasaN ②<にがい。>

(6-7-3) Injat'chee <出して>…〔iNdʒáQtʃi:〕…（p. 27-580； Pull, or draw out）

Injáshoong <出す>…〔iNdʒá:fu:N〕…（p. 27-586； Put, up a thing, high）

cf. B： Pull： ndjashung； Draw： ndjashung

沖： ?Nza=shuN ②<出す。>

(6-7-4) Indeetáwoong <濡れて居る>…〔iNdi:tʃ:u:N〕…（p. 37-882； Wash, or Bathe）

I'ndeetáwoong …〔iNdi:tʃ:u:N〕…（p. 37-901； Wet, to）

Inneétee <濡れて>…〔i(N)ní:ti:〕…（p. 37-900； wet）

cf. B： Wet： 'nditong, nuritong, 'ndashung, nurashung

沖： 'Ndi=juN ①<濡れる。>

(6-7-5) Akittee nínjoong <?>…（p. 46-S49； Shut this, or it）

英文は「これを閉めよ」、琉球語は「開けて眠る」で全く意味をなさない。琉球語の ninjoong を 'NNzuN に変えると「開けて見る」の意味となり、依然英文とは一致しないが、以後の例文 S 50～S 53 とは「開けて」（open）を含む点で共通するようになる。したがって ninjoong は nnjoong の誤記と解釈したい。あるいは本国に帰り語彙集出版の際に単語からは想像もつかないような nn が語頭にあるのを見て、sleep の項にある n̄injoong に惑わされたのかもしれない。英文は恐らくクリフォードが勝手につけたものであろう。始めに琉球語があってそれに英文を付けるやり方が例文収集の際のクリフォードの常套である。

(6-8) Moónee <胸>…〔mú:ni:〕…（p. 9-73； Breast）

〔Nni〕に類する音もあったと思われるが、表記の簡単な〔mu:ni:〕で処理している。

cf. 伝： 胸〔𑄎ニ ṅg-ní〕（p. 382 身体）

B： Breat： muni, 'nni

対： 胸〔ニ〕（p. 17）

沖： 'Nni ①<胸。>

(6-9) 〔N〕を落としたもの：

- (6-9-1) New <蓑>・・・〔(N)nju:]・・・(p.17-309; Great coat)
 ☆英語の new である。
 cf. 対: 蓑〔ヌ〕(p.15)
 沖: 'Nnu ◎<みの。>
- (6-9-2) Boósa <重さ>・・・〔(N)bú:sa:]・・・(p.18-337; Heavy)
 cf. 伝: 重〔ňg-bŭ-shà〕(p.382 身体)
 B: Heavy: mbussang, mbúsang, mbussa kassa <重さ, 軽さ>
 沖: ?NbusaN ①<重い。>
- (6-9-3) Ma (Chinese) <馬>・・・〔(N)ma:]・・・(p.19-354; Horse) (p.28
 -615; Ride) (p.46-S111)
 cf. 漢: mǎ
 琉: 馬〔烏馬 ウマ〕(p.109 鳥獣141)
 伝: 馬〔嚙馬 m'-mǎ〕(p.379 鳥獣)
 B: Horse: 'mma, (--colt) mma gva, kū-mma
 対: 馬〔ムマ〕(p.19); 厩〔ソマヌヤー〕(p.10)
 沖: ?Nma ◎<馬>
- (6-9-4) Moo <芋>・・・〔(N)mu:]・・・(p.27-563; Potatoes, sweet) (p.
 33-773; Sweet potatoes)
 cf. 伝: 番薯〔番子母 fān-zǐ-mŭ〕(p.383 飲食)
 B: Potato: ímmu, (Chinese--) tó 'mmu, (growing in rice
 fields) ta 'mmu
 南: ウモ ('mmu)
 対: 甘藷〔ソム〕(p.22)
 沖: ?Nmu ◎<甘藷。>
- (6-9-5) Bang <飯>・・・〔(N)baN〕・・・(p.28-613; Rice, boiled) cf. (6-2)
- (6-9-6) Bátee <混ぜて>・・・〔(N)ba:ti:]〔(N)beiti:]?・・・(p.23-467;
 Mixed)
 cf. 沖: ?Nbee=juN ①<うめる。水を入れてぬるくする。>
- (6-9-7) Ma (karájjee) <そこは(頭)>・・・〔(N)ma:(ka:rádgi:)] (p.37-
 893; Web-footed bird, head)
 Ma (joo) <そこは(尾)>・・・〔(N)ma:(dzu:)]・・・(p.37-896;
 Web-footed bird, tail)
 cf. 沖: ?Nma ①<そこ。>
- (6-9-8) Jirree <ねじ>・・・(p.29-656; Screw)

〔(ni)dziri:〕であるべきだが、ni を落としている点から考えると、このni が Nと発音された可能性もある。

cf. B : Screw : nidjiri - shung

沖 : niziri ◎〈ねじ。〉

(6-9-9) Nittee <出て>・・・〔N (dʒ)iti:〕・・・(p. 44-S28)

S28 : When the ship depart to-morrow・・・<明日船が発する時・・・>

A'cha hoonee nittee・・・<明日船(が)出て・・・>

nittee が<出て>の意味であるなら njittee 〔Ndʒiti:〕であるべきである。

或いはこれは〔Nniti:〕と表記すべきものを語頭の〔N〕を落としたとも考えられる。

cf. B : Depart : ndjiti ndjang

沖 : ?Nzi =juN ◎〈出る。〉

(6-9-10) Nájeechoong <頷く>・・・〔(N)ná:dʒi:tʃu:N〕・・・(p. 24-497; Nod, to)

cf. B : Nod : 'nnazitchung, ukigumi 'nnazitchung; Head : nyazichung

(6-9-11) Soong mága <?>・・・〔su:N má:ga:〕・・・(p. 17-303; Grand-children)

意味が釈然としない。いくつかの可能性を検討すると

① 「総孫」(孫全員) 〔su u Nma:ga:〕

② 「孫孫」(子孫、または孫達) 〔su:N (N)ma:ga:〕 (su:N は音読み)

③ 「sju:<父>の孫」 〔s(j)u: Nma:ga:〕

④ 語頭のsが混入したとすれば(6-1)などから推論して 〔NNma:ga:〕

cf. 伝 : 孫子〔姆馬嶋 mǔ-mǎ-gá〕(p. 381 人物)

B : Grand-child : maga, maga kva, (children and--) kva maga, shi - sun

南 : ヴマガ ('mmaga) 孫也。

対 : 孫〔ソマガ〕(p. 9)

典 : 孫〔うまが〕(普通語はマゴ、ムマゴとある)

沖 : ?Nmaga ◎〈孫。〉